

鹿児島市コミュニティビジョン推進戦略会議第7回会議 会議概要

【開催日時】 平成25年1月16日(水) 14時～16時

【場 所】 鹿児島市役所東別館9階特別中会議室

【出席者】

○委員：石田尾委員長、奥村委員、上池委員、北方委員、久保委員、黒江委員、花倉委員、飛松委員、永山委員、春山委員、松田委員、持増委員、山崎委員、山本委員
(欠席：清水委員)

○事務局：下村市民局長、圖師市民部長、平田地域振興課長、枝元地域振興課主幹 ほか

【会次第】

(1)開会

(2)先進事例紹介及び意見交換

(3)協議

①第6回会議について

②モデル地域での取り組み状況について

③その他

【会議の内容】(◎は委員長の発言、○は委員の発言、●は事務局等の発言)

(1)開会

(2)先進事例紹介及び意見交換

薩摩川内市 大馬越地区コミュニティ協議会 会長 水流 信雄 氏
副会長 大原 春美 氏

(3)協議

①第6回会議概要について

第6回会議概要について事務局説明

○委員

・最近路線バスで、地域振興課からのお知らせを聞くが、「町内会活動に参加しましょう」という。あれでは加入に対する意識は変わらない。「町内会に加入して活動に参加しましょう」と言わないといけないのではないか。

◎委員長

・意見として聞き置くということによいか。

●事務局

・予算やバスや市電の事業者との関係もあるので、出来る範囲で対応していきたい。新しい取り組みであり、一定の効果は出てくものと期待している。

◎委員長

・他に意見や質問等はありませんか。

○委員

・なし

◎委員長

・第6回会議概要についてはご確認いただいたということによろしいでしょうか。

○委員

・異議なし

②モデル地域における取り組み状況について

モデル地域における取り組み状況について事務局説明

○委員

・平川だけが、「平川まちづくり協議会」という名称になっている理由は何か。

●事務局

・地域コミュニティ協議会の名称は、それぞれの地域で協議し決めていただいている。ただ、「校区公民館運営審議会」といったこれまでの組織の名称とまぎらわしいものは避けてくださいと申し上げている。地域のオリジナルの名前を付けるところから、コミュニティのあり方があると思う。平川の皆さんの総意で決めていただいたところである。

○委員

・特に理由はないということのようだ。「地域コミュニティ協議会」に名称を統一した方がよいのではないか。そうしないと変な名前をつけるところが必ず出てくる。最初が大事であるので、統一したほうがよい。

○委員

・土地柄があるので、将来にわたって検討していくことにしてはどうか。

◎委員長

・他に意見や質問等はありませんか。

○委員

・なし

◎委員長

・委員からの質問を踏まえ、事務局はこれまでに出た意見、これまでの状況を判断して、モデル地域における活動支援をさらに進めていただきたい。

③その他

その他について事務局から説明はなし

◎委員長

・委員の皆さんから事務局に確認しておきたいことはございませんか。

○委員

・現在の推進体制は何名か。

●事務局

- ・地域振興課は課長1人・主幹1人・職員4人の体制である。現在モデル地域では、主幹・職員・コーディネーターの3人が説明や設立に向けての協議に参加している。設立総会には、局長、部長、地域の支所長も出席している。

○委員

- ・各地域コミュニティ協議会の組織図を見たとき、各部会の担当事務が異なっているが、主な地域活動を網羅しているかどうか重要なポイントになると思う。仕分けは地域で行っているのか。

●事務局

- ・名称と同様、地域によって組織の成り立ち、地域コミュニティのあり方など様々である。地域の方々が「このような部会でこういった活動をします」ということであれば、そこをあえて、市から「こうしてください」ということは申し上げていない。地域の皆さんの総意で立ち上げ、運営をしていただきたいと考えている。

○委員

- ・市長が環境・観光・子育て・協働・教育・経済・健康の7Kをとнаえている。これが活動内容に入っているかどうかを見ることが大切ではないか。

○委員

- ・今後地域にコーディネーターや職員を貼り付けるということは考えていないのか。

●事務局

- ・モデル地域は26年度まで支援をしながら、検証していきたい。ただ、モデル地域の周辺で設立をしたいという声を聞いたり、旧5町の足並みということで、そこにモデル地域を置いたらどうかという意見を聞いたりする。そうすると現行の体制ではいかがかということになり、支所の職員からどのように協力をもらうかということも出てくる。
- ・25年度中においては、市政出前トークで十分な説明をさせていただくとともに、26年度以降の設立に向けた準備について説明をさせていただきたいと考えている。
- ・将来的には市職員が加わるという取り組みも想定しながら、検証期間の中で具体的に検討していきたいと考えている。

○委員

- ・私の住む地域では町内会がなく、あいご会が町内会のような活動をしている状況である。町内会設立に向けて協議を進めているが、時期尚早ではないかという意見が多い。地域コミュニティ協議会に加わるのであれば、なおさら町内会は必要ないということになると思われるのではないか。

●事務局

- ・町内会の下部団体としてあいご会があるところも多い。その他にも町内会をまたいであいご会があるところ、あいご会単独で活動していて、あいご会町内会として活動しているところもある。市内には801町内会があり、その活動は地域によって様々である。地域コミュニティ協議会は小学校区で設立していただくが、その校区で一番多い形で加わっていただくことが、地域のまとまりを生むと思う。
- ・今のお話では、ほぼ町内会的な活動をしているあいご会ということであるので、地域

コミュニティ協議会の設立準備段階で地域の皆さんとお話をしていただければと思う。あいご会のままでいい、町内会になった方がいいということは今後も協議を続けていただきたい。町内会は、最も基礎的な安心安全なまちづくりを行う団体である。名称はとくに決められているものではないので、地域の皆さんとつくりあげる道を探していただきたいと思う。

○委員

- ・25年度は出前トークでビジョンについて説明をしていく、26年度までは検証をしていくとのことであったが、28年度までに全校区に設立することはできるのか。

●事務局

- ・全校区設立は30年度までにと考えている。27年度以降、毎年度20ずつ設立したいという想定である。
- ・しかし一部校区では取り組みたいという声も伺うので、26年度の比較的早い段階で設立ができるような形で25年度準備を進めていただきたいと思う。また、そういった動きが報道されると、取り組んでみようという大きな流れがでてくるのではないかと考えている。

○委員

- ・取り組みたいという校区がでてきたら認めるのか。

●事務局

- ・予算が伴うものであるため、25年度は新たな設立は想定していないところである。26年度以降は来年の1月ごろまでにそういった声があれば、予算化していくということもあると思う。

○委員

- ・南さつま市において県内初のコミュニティスクールが開校することであった。せっかくなので、地域コミュニティ協議会においてもどこかでコミュニティスクールのモデル校を将来的に設置してもいいのではないかと。
- ・子育て・教育は地域全体とするものであり、子育て・教育を通じて地域のつながりも強まると思う。

◎委員長

- ・地域コミュニティの再編・地域力ということを教育面からアプローチしたご提言をいただいた。検討項目として事務局で精査してほしい。

○委員

- ・この会議でもらった資料は地域の方に見てもらってもいいか。

●事務局

- ・本日の配布資料等も地域で参考にしていただけたらありがたい。

○委員

- ・地域振興課は町内会の実態調査・市民意識調査を行っている。推進戦略会議の委員にも報告書をいただきたい。

●事務局

- ・準備する。

○委員

- ・モデル地域の方に来ていただいて話を聞きたい。
- 委 員
 - ・設立までの経過も知りたい。
- ◎委員長
 - ・事務局は検討していただきたい。
- 事務局
 - ・機会をみつけてお願いしたい。
- ◎委員長
 - ・その他に意見や質問等はありませんか。
- 委 員
 - ・なし